

科目名称：	英語コミュニケーションⅡ（ビジネス実務学科）	
担当者名：	ガート・ウエスタハウト	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
この授業は「英語コミュニケーションⅠ」の続きです。前期に習ったことを踏まえ、更に英語力をつけることを目指します。このクラスは上級・中級です。		
授業の達成目標・到達目標		
必要な場面で英語が使えるように、英語の基礎を修得することが目標です。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	50	20		30	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
英語理解	教材の内容をよく読み、理解することができる。	教材をゆっくり読むことができる。ある程度理解できる。	わからないことを調べながら ゆっくり読むことができる。	教材をあまり読めず、理解もできていない。
理解の視点と表現	自信を持ってわかりやすく表現することができる。	促されると自分の言葉で表現することができる。	自信はないが表現ができ、すべての約束事は守れる。	発表もできず、約束も時間もルーズ。
学びへの積極性	質問や意見など、講義内で毎回1回以上発言できる。	質問や意見など、講義内でたびたび自発的に表現できる。	質問や意見など、時々表現できる。	講義に対して、聞く気がなく、居眠り、私語などがある。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 Introduction	read this syllabus	40分
第2回 games for English	childhood games list	45分
第3回 more games	friendship vocabulary	45分
第4回 friendship	quiz study	45分
第5回 quiz 1, sister cities	schedule worksheet	45分
第6回 daily schedule	reports	45分
第7回 sister city reports	feedback	45分
第8回 writing	teacher list	45分
第9回 model teachers	quiz study	45分
第10回 quiz 2, my hero	hero essay	45分
第11回 heroes	song worksheet	45分
第12回 songs	presentation practice	45分
第13回 more songs	presentation practice	45分
第14回 song presentations	exam study	45分
第15回 summary, exam preparation	evaluation	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題をまとめたり、プレゼンテーションの準備をまとめたりする。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト2回 @ 10% (20) ; 発表 1回 @20% (20) ; 参加力@10% (10)

課題に対してのフィードバック

発表資料の下書きと最終版についてコメントする。
学期中には学生の進捗を確認し、支援が必要な場合は対応する。

教科書・参考書

プリントのみ